

会 議 結 果 報 告 書

令和元年10月28日

会議の名称	令和元年度第4回志木市地域福祉推進委員会
開催日時	令和元年10月28日（月）9時30分～11時30分
開催場所	志木市役所 301・302会議室
出席委員	菱沼幹男委員長、竹前榮二副委員長、 八木由子委員、村山宏委員、塩沢夕起子委員、小澤静枝委員、 清水裕司委員、中村勝義委員、倉持香苗委員、柴崎英雄委員 川原照男委員、吉田かほる委員、安部卯内委員 <p style="text-align: right;">（計 13人）</p>
欠席委員	<p style="text-align: right;">（計 0人）</p>
議 事	(1) 第4期地域福祉計画の素案について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他
結 果	以下審議内容のとおり。 <p style="text-align: right;">（傍聴者 1人）</p>
事 務 局	村上部長 豊島次長 塩盛課長、安井主幹、竹ノ谷主事 志木市社会福祉協議会事務局 長谷川次長、川嶋主事 株式会社創建 高橋
署 名	(委員長) 菱沼 幹男 (署名人) 清水 裕司 (署名人) 柴崎 英雄 原本議事録には署名あり

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開会
※資料の確認
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
- 4 閉会

【議事の結果】

(1) 基本理念について

（福祉課より説明）

委員長：今説明のあった素案の内容についてご意見いただきたい。自分らしくという言葉はよく使われるが、意味が曖昧である。一人ひとりの意思が尊重されるという意味合いが含まれると良いのではないか。そのため、基本理念の文章にそのような内容を加えてはどうか。これまで市が力を入れて取り組んできた内容を書いても良いだろう。安心して、自分らしくという部分に該当する内容について、メッセージを加えてみたらどうか。

委員：安心して自分らしく暮らせる、というイメージがもう少しわかると良いのではないか。どこを達成したら良いのか、基準がわかりにくくなっている。

委員長：具体的にどういう点を大事にしていきたいかが、わかるように修正していただきたい。

副委員長：確かに曖昧な言葉ではあるが、自分らしいというのは人によって異なるため、文章で明確に示さなくても良いのではないか。

委員：加えたら加えたで、こうしなければならないという印象を与えかねない。

委員長：相手のことを考えてということではないか。

委員：みんながつながり、の後に思いやりを持って、という言葉を加えてみてはどうか。人のことを考えるという意味合いを加えられるのではないか。

委員長：確かに具体性が増すため、追加しても良いかと思うがいかがか。

委員：みんながつながり、という表現に思いやりを持ってという意味が含まれているのではないか。むしろ、私は自分らしくという言葉につまずいた。自分自身のことなのか、他者のことなのか。誰にとっての自分らしきなのかがわかりにくかった。

委員：ふだんの生活を継続することができれば良いと思う。

委員：そうすると犯罪がないとか、災害がないとかということになる。

委員長：主体的に自分の人生をつくっていける、周りから尊重してもらえる、という意味。みんなが思いやりを持ってつながりという意味とも捉えられる。

委員：今回の台風で、ふだんからコミュニケーションが図れていた地域では、情報交換がスムーズであった。やはりふだんからのつながりが重要と感じた。

委員長：避難する場合、誰かに声をかけてもらって避難することも多い。日頃から関係をつく

っておくことが重要ではないか。

委員：それに加えて、避難活動においては行政の支援も重要だろう。

副委員長：今回の台風では、行政支援もあってスムーズに避難活動ができた。行政とのつながりをいかに強めていくのかという視点も重要と考える。

委員長：本日の審議をまとめると、基本理念はそのままで、説明文を修正することで改善できると考えている。つながりの具体化や、思いやりを持つという意味合いも、追記していただくと良いのではないか。また、下から2行目の市民の協力も不可欠というのはなぜか。ふだんからの関係性がいざという時に役立つからだと思うが、そのあたりも加筆・修正していただきたい。

(2) 重点的な取組について

(福祉課より説明)

委員長：(4) 安心・安全な地域づくりの指標について、「町内会加入率」の目標値が65%となっている根拠は何かあるか。

副委員長：町内会連合会としていろいろ取組を行っているが、何か目標があればと考えている。

委員長：ほかの計画に入っている目標と整合を図る必要がなければ65%以上という表記でも良いのではないか。地区防災訓練件数も42件ではなく、42件以上で良いと考える。

委員：現状値と目標値の期間がわかりにくい。1年間ごとの目標なのか、計画終了年の目標なのか。

事務局(福祉課)：現状値は直近で把握している数値となっている。目標値は計画終了年の目標値と設定されている。

副委員長：これらの数値は令和6年度までの目標ということで良いのか。

事務局(福祉課)：その通りだが、何か注釈を記載した方が良いか。

委員長：現状値もいつの時点かどうか追記した方が良いだろう。

事務局(福祉課)：必ずしも5年後となっていない目標値もあるため、わかりやすいように工夫させていただく。

委員長：5年間かけての目標値を設定すれば良いと思うので、再考していただきたい。数値目標を入れる時には根拠を持って示すことが重要である。重点的な取組としての項目立てとしては今のままで、指標についてのみ精査していただきたい。(2)の部分は、参加を促すとすると上から目線になるため、「地域福祉活動に参加しやすい環境づくり」という方が適切ではないか。

副委員長：全体的なことになるが、高齢化が進んでいる。いろいろな取組を進めていくなかで、何に力を入れて進めていくのか。

事務局(福祉課)：一番を決めることは難しいが、重点的な取組を、優先的に力を入れるものとして位置づけている。

委員長：指標が出るところが最も重要と捉えられてしまうので、指標を出すかどうかも含めて検討していただく必要があるだろう。

副委員長：百歳体操や歩け歩け体操なども重要だろう。優先順位のランクを示すべきではないか。

委員長：この計画は市民へのメッセージになるかと思うので、百歳体操や協議体が重要となってくる。取組を少し絞って示しても良いのではないか。町内会加入率や地区防災訓練の件数を出していけばよいのではないか。

委員：百歳体操などの目標値があって、現状値と目標値があった時に、具体的な内容がわかると市民への発信となるのではないか。町内会加入率についても、町内会に入ってどのような良いことがあるのかということも掘り下げて説明してもらえると良いのではないか。ポイントを抑えて具体策まで落とし込んでいくと良いのではないか。

副委員長：今後、ホームページも改めようとしているところで、町内会加入についてのメリット・デメリットも整理しているところである。

委員：先日、若い夫婦に町内会に加入するメリットは何か尋ねられたことがあると知人から聞いた。メリット・デメリットを示していかないと加入してもらえない状況となっている。

委員長：目標を達成するのに具体的に何をしていくのか、担当課を中心に検討していただければと思う。

委員：地区防災訓練はどのくらいの単位の防災訓練なのか。

事務局（福祉課）：町内単位の訓練である。

委員：前回の台風第19号では地区防災訓練の重要性を認識できた機会であった。

委員長：地区防災訓練に対して、参加しにくい人たちを参加しやすいような環境づくりを整備していく必要があるだろう。障がい者や外国人などが参加しやすいように。支援件数を増やすにしても説明書きがあったほうが良いだろう。

委員：p36の図が市民にとってわかりにくいのではないか。p35に「国は」という一文が入っているとわかりやすいのではないか。

委員長：図が必要なのか、という考え方もある。国が示す図は、他自治体でも掲載しているケースをいくつか見ているが、字が小さくなったり、なんとなく載せているだけになっている計画も多い。図の活用方法は検討していただきたい。このまま掲載するとしても、横にして拡大した方が良いだろう。

(3) 素案の全体を通して

委員：p1とp3とで、地域共生社会の実現に付与されている鍵括弧の位置が異なる。いずれも正しいのか。また、p1の法律名称の前半部分の鍵括弧が抜けている。最後の段落のニーズが続いているが、これらの意味合いは異なるのではないかと思う。p3の(2)の1段落目に同じ内容の文章が最初と最後に入っている。p4の表の下部にある注釈には該当のページ番号を加えた方が親切ではないか。p6の図の志木市将来ビジョンの横が切れている。p8の「進展」

という言葉は前向きな意味に捉えられることがあるので、表現を変えた方が良いのではない
か。p9 の下のグラフは 2012 年ではなく、2010 年の誤りか。また、そうだとすると、上のグラ
フと下のグラフで N 数が異なるため混乱を招く恐れがある。下のグラフは国勢調査のため N
数は不要と考える。p10 の未婚率の推移について、8050 問題はあくまでも 80 歳代と 50 歳代
の人が同居していることから生じる問題であって、未婚だから起きる問題ではない。8050 問
題をここで取り上げるのは、不適切と考える。

委員長：とても細かく確認していただけてありがたい。事務局は、改めて修正したものを委員
の皆さんへ送っていただきたい。パブコメを出すのが 11 月 13 日となっているため、整え次
第送っていただき、気づいた点は送り返すようにすると良いのではないかな。

委員長：その他の点で全体的にお気づきの点はあるか。

副委員長：p52 のフレイルとは何か。注釈や補足説明などがあつた方が良いのではないかな。

委員：p35 の管理運営について説明していただきたい。

事務局（福祉課）：交流拠点の整備という観点から、管理運営を行うという意味である。

委員：市民はどのように管理運営に参加するのか。

委員長：社協に委託しているのか。

事務局（福祉課）：そうである。

委員：例えば管理運営者として参画する意味合いではないということか。

事務局（福祉課）：そうである。

委員：承知した。

委員長：他の地域で管理運営というのを見たことがないが、取り組んでいることなので良いだ
ろう。

委員：p55 の就労の支援、p58 の、p80 の、p38 の町内会のデータについては詳細を示さずに、
余白で活用できるスペースがあればコラムなどで示していけばよいのではないかな。

委員長：確かにコラムとして説明を加えたりできると良いのではないかな。

副委員長：p17 の生活保護の状況について、金額を入れてみてはどうか。市民は金額で見た方
が、実感がわくのではないかな。

委員長：世帯状況によって金額が異なるので、ここは世帯数のみで良いだろう。

委員：p54 の冒頭、「これまで市では」を加えた方がわかりやすい。p79 の余白が大きくあるの
は誤りではないということか。p81 以降、グラフのタイトルのフォントをそろえたほうが良
い。p83 の文中に n が入っている。p86 の基本目標は重要な内容のため、行間を空けた方が見
やすい。p89 以降、推進担当課のフォントもそろえたほうが良い。p95 は字が 3 文字程度下がっ
ている、p98 の C さんの、ではなく C さんはだと思ふ。

委員：p7 の本市を志木市と表記した方がよい。また、市の主な取組も志木市の主な取組の方
が良い。

委員：志木市の計画なので、全てに志木市と表記する必要はないのではないかな。

副委員長：本市ではなく、市でも良いのではないかな。

事務局（福祉課）：グラフは志木市とした方がわかりやすいかと思うので、修正するようにする。第4章以降はそのままで進めたい。

委員長：そろそろ終了時間が迫ってきたので、他にご発言があれば出していただきたい。

委員：人生100年時代と言われている中で、目まぐるしく問題が生じてくる。しかしながら、高齢者としては、国民のニーズに対して応えられるように研究していきたいと思う。高齢化による問題がクローズアップされているが、このような時代に入っていくため、ともにケアしながら考えていきたい。

委員：前の時よりは見やすくなってきたと思うので、空いている部分にコラムが入ったら良いと思う。また、p70の防災マップについて、もっと大きく掲載できるとわかりやすいのではないかと思った。

委員長：写真のスペースはより計画を理解してもらえるようなものを掲載できれば良いのではないか。また、p27～29について、事務局の目で確認していただいて、取組が整合を図れているかどうか確認していただきたい。

(4) 今後のスケジュールについて

(福祉課より説明)

(5) その他

以上